

公益財団法人 日本サッカー協会
2024 年度 第 6 回理事会

2024 年 4 月 18 日

決議事項

1. 2024 年度における J リーグ×JFA サッカー界露出拡大プロジェクトの件

事案決裁規則およびその細則に基づき、以下の通り付議する。

2023 年度第 11 回理事会(2023 年 11 月 9 日開催)第 6 号議案において決議された「サッカー界露出拡大プロジェクトへの参画の件」を踏まえ、2024 年度の取り組みを下記の通り実施したい。

■本事業実施の目的

地域・都道府県におけるサッカー活動のさらなる活性化のためには、サッカーの魅力やサッカー関連情報をより多くの人に届ける必要がある。そのための手段として、サッカー応援番組を通してサッカー関連情報の露出を拡大し、人々の関心を高めてサッカーの普及促進と活性化につなげる。

■2024 年度の取り組み概要

- (1) 2023 年度に引き続き、本取り組みを継続し、サッカー関連情報の地上波における露出拡大を通してサッカーとの接点を創出、各都道府県サッカー協会における普及施策を下支えする
- (2) J クラブのない福井県と高知県においても放送を開始する(これをもって 47 都道府県全てでサッカー応援番組が放送されることとなる)
- (3) 前年に引き続き、J リーグ(J クラブ)と JFA(47FA)の番組露出比率を原則として 2:1 とする

■2023 年の取り組み成果

2022 年にトライアル実施した後、2023 年 4 月より全国 30 局(45 都道府県を網羅)において地上波でサッカー応援番組がスタート。応援番組の放送局では前年比 6.9 倍、全民放放送局平均でも前年比 3.0 倍と、当初の狙いの通りサッカーに関する全国的な露出量が増えている。

放送日時を変更するなどして露出拡大にも努めた。また、関係者の協力と理解を得て、J クラブがなくこれまで番組が放送されていなかった福井県と高知県でも 2024 年度から放送が開始されることになり、これによって全 47 都道府県をカバーすることとなった。

それぞれの放送においては、FA が実施する試合やフェスティバルイベント等の告知のみならず、多様なグラスルーツのサッカーを取り上げるなどの取り組みを進め、サッカーファミリー内外において番組の認知度が高まっている。

2. 各種委員会委員長および委員選任の件

(決議) 資料 1

2024 年度第 5 回理事会(2024 年 3 月 23 日開催)にて選定された 3 委員会委員長(技術委員会、女子委員会、審判委員会)以外の各委員会委員長および各委員会委員について、各種委員会組織運営規則に基づき、資料の通り選任したい。

■参考

各種委員会組織運営規則

(組織及び委員)

第4条 各種委員会は、それぞれ委員長及び若干名の委員をもって構成する。

2 各種委員会の委員長及び委員は、本協会役員、地域及び都道府県サッカー協会役員のほか、本協会の事業に関し、知識、経験及び熱意を有する者のうちから、理事会の承認を経て会長が委嘱する。

3. 各種委員会 部会設置の件

(決議) 資料2

各種委員会組織運営規則第10条に基づき、資料の通り部会を設置したい。

■参考：各種委員会組織運営規則

(部会及び分科会)

第10条 各種委員会は、その所管事項に関し、理事会の承認を得て、部会を設置することができる。

4. チャイニーズ・タイペイサッカー協会への支援の件

海外における自然災害等に対する支援事業の実施に関するガイドラインに基づき、以下の通り付議する。

台湾東部で4月3日に発生したマグニチュード7.2規模の地震により、深刻な被害が発生している。この地震で被災された地域の一刻も早い復旧を願い、以下の通り支援を実施したい。財源は、災害復興継続支援引当特定資産を活用する。

支援内容：チャイニーズ・タイペイサッカー協会に支援金としてUS\$20,000を寄付。

■参考

過去10年の災害支援実施内容(国外)

(1) 2013年11月 フィリピン台風30号被害

フィリピンサッカー協会に義援金としてUS\$20,000

(2) 2015年4月 ネパール大地震

ネパールサッカー協会に義援金としてUS\$20,000

(3) 2016年4月 エクアドル地震

エクアドルサッカー協会に義援金としてUS\$20,000

(4) 2016年8月 イタリア中部地震

イタリアサッカー連盟に義援金としてUS\$20,000

(5) 2017年9月 メキシコ中部地震

メキシコサッカー連盟に義援金としてUS\$20,000

(6) 2017年 イラン・イラク地震

- イランサッカー連盟に義援金として US\$20,000
- (7) 2018年9月 インドネシア大地震
インドネシアサッカー協会に義援金として US\$20,000
- (8) 2018年11月 北マリアナ諸島台風26号被害
北マリアナ諸島サッカー協会に義援金として US\$20,000
- (9) 2020年10月 ベイルート爆発
レバノンサッカー協会に義援金として US\$20,000
- (10) 2021年9月 ハイチ大地震
ハイチサッカー協会に義援金として US\$20,000
- (11) 2023年2月 トルコ南部・シリア地震
トルコサッカー協会、シリアサッカー協会に義援金としてそれぞれ US\$20,000

■参考

海外における自然災害等に対する支援事業の実施に関するガイドライン

2. 支援対象

海外で発生した地震や津波、台風（ハリケーン）、洪水、山火事等の災害の中で、その国民に甚大な被害をもたらし、特に支援が必要と判断される災害を対象とする。

3. 支援内容

具体的な支援の方法として、災害の規模等に鑑み、以下の内容の支援事業を行うものとする。

(1) 海外サッカー協会への義援金

- ① JFA としての義援金の拠出
- ② 義援金口座の開設による義援金募金の実施
- ③ その他の方法による義援金の拠出

(2) 個別支援

- ① 生活支援物資等の提供
- ② サッカー用品の提供
- ③ その他、必要な支援

4. 支援内容の決定方法等

- (1) 支援内容の決定は、原則として、理事会の決議事項とする。

5. 女子プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則 改正の件

(決議) 資料3

FIFA 規則(選手の地位及び移籍に関する規則)において、登録ウインドーの期間に関する規定が改正された(2023年4月1日施行)ことに伴い、WE リーグに適用される「女子プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」の該当条項を改正したい。

■備考

- (1) Jリーグおよび JFL に適用される「プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」の該当条項については、2024年度第1回理事会(2024年1月11日開催)の理事会にて改正済
- (2) 各シーズンの具体的な登録ウインドー期間については、毎年しかるべき時期に WE リーグと

協議の上に決定し、事務局にて設定するものとする。

※2024/2025 シーズンの女子のリーグの登録ウインドーは以下の通り。

第1 登録ウインドー：2024年7月1日（月）～9月18日（水）

第2 登録ウインドー：2025年1月13日（月）～2月12日（水）

■参考

女子プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則

9. 改正

本規則の改正は、本協会の理事会の決議に基づきこれを行う。